

山元議委発26号
令和2年3月17日

山元町議会議長 岩佐哲也 殿

総務民生常任委員会
委員長 橋元伸一

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務調査を下記のとおり終了したので報告します。

記

1 調査事項

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 空き家対策について | 1月14日、1月30日 |
| (2) 災害対策について | 1月14日、1月30日 |
| (3) 保育所建設について | 1月14日、2月10日 |

2 調査結果

(1) 空き家対策について

- ・組織変更前（町民生活課）と変更後（子育て定住推進課、町民生活課、建設課）の業務分担の説明。
- ・実態把握のアンケート調査（平成28年度実施）の説明。
- ・現在、HPで空き家活用情報提供事業（空き家バンク）を行っている。
- ・今後は空き家等の利活用促進に向け、次の事業を予定している。
 - ①空き家等の家財処分事業補助金の創設
 - ②宮城県宅地建物取引協会との協定締結

意見

- ・組織再編後の空き家に関する3課の業務分担と問題の情報を共有化し、町民が判り易く、相談し易いサービスに努めること。
- ・空き家バンクのデータを定期的に更新する仕組みを早期に検討すること。
- ・場所によっては鳥獣の住処となっており、また隣接する家に樹木が侵入し、火災、人災等の面から特別な処置が必要である。
- ・現在、町が検討している前述の①、②を早期に実現し、町をあげて定住促進を図ること。

(2) 災害対策について

- ・令和元年東日本台風と令和元年10月25日の大雨による被害、避難勧告等の発令状況についての説明。
- ・職員の初動対応、配備等について
- ・災害の種類ごとの避難場所・経路等について

以上3点の説明を受け、被害状況の現地確認を行った。

意見

- ・通常の河川管理が出来ていない状況が見受けられるので、情報を共有し、防災に備えた体制を整えておく必要がある。
- ・調査した主に丘通りの河川や排水路は、土砂が堆積している箇所が多くみられ、浚渫などの修復が急がれる。土砂の流出は土取場の弊害も一因と考えられるため、今後注視していく必要がある。
- ・職員の災害時初動対応マニュアルに沿った訓練が必要である。

(3) 保育所建設について

当面の方針として、これまでの子育て世代が求める多様な子育てニーズへの対応状況と坂元地区の保育所問題を含めた「令和2年度山元町子育て支援パッケージ」が示され、新年度に向けた山元町の子育て支援について説明を受けた。

本来の調査目的である「坂元地区の保育所建設」については建設しないことが示された。

意見

保育所は建設しないことが示されたが、2回の調査を経ても町の建設しないという理由が理由になっていないとの指摘に対し、明確な説明が示されず、この間町に提出された「坂元地区振興策提言書」への町の対応にも疑問が残る。

当委員会では「地域に見合った保育所が必要である」ということで全委員の意見が確認された。

早期の実現を強く求めるものである。